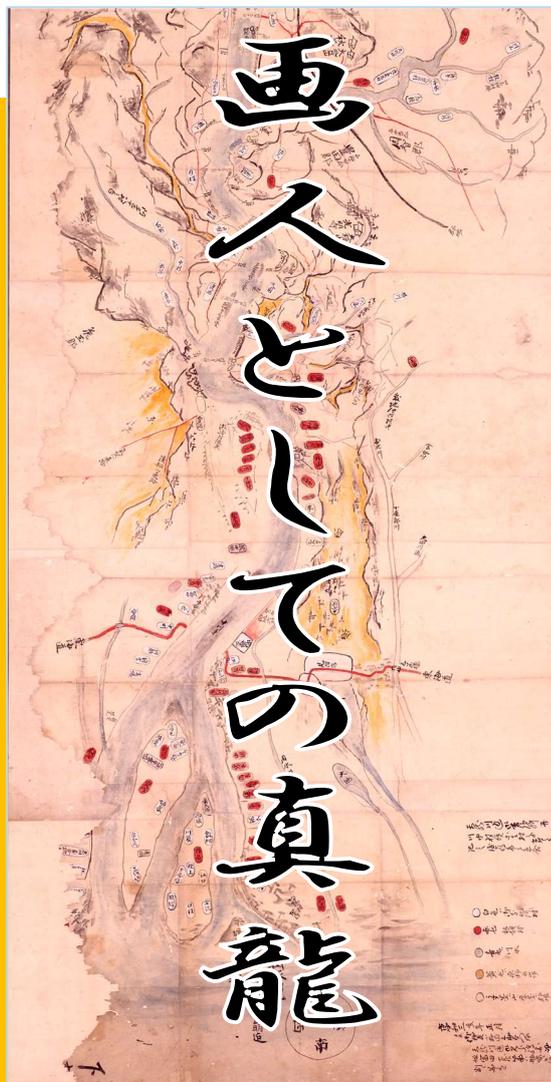


浜松市立内山真龍資料館  
令和6年度常設展Ⅱ

画人としての真龍



▲春景山水図(部分)



▲天竜川絵図(部分)



▲自画像(部分)

内山真龍(1740~1821)は遠江国豊田郡大谷村(浜松市天竜区大谷)の名主の傍ら、渡辺蒙庵や賀茂真淵に師事し、遠州国学者として学問に励みましたが、絵を描くことにおいても秀でていました。

時の勘定奉行、柳生久通の当地方巡見に際しては、長大な天竜川を長一丈二尺、幅三尺(長さ約3m60cm×幅90cm)に収めた「天竜川絵図」を描き、上呈しました。

『遠江国風土記伝』に掲載の絵図は真龍の調査記録であり、当時の状況を知る上で貴重な史料となっています。

また、真龍が文化人としての教養を示すために、あるいは日常の手慰みとして余技的に描く絵画は文人画(南画)でした。その画題は人物画や花鳥風月画など多岐にわたります。

本展では、真龍の手による絵図と文人画を紹介して、画人としての真龍の足跡を辿ります。

令和6年

6月21日(金) ▶

9月15日(日)

主な展示資料【予定】

- ・絵図 ◇天竜川絵図
- ・文人画 ◇双鶴図 ◇春景山水図 ◇自画像
- ・古記録・典籍 ◇遠江国風土記伝 ◇真龍の日記

浜松市立内山真龍資料館

観覧無料

開館時間 : 午前9時から午後5時まで 休館日: 月・火曜日、祝日(8/11(日))

住所: 浜松市天竜区大谷568番地 電話: 053-925-4832

